

「西田先生は靖国神社を参拝するにあたり何を感じますか？」

平成 29 年 5 月 2 日

●三毛猫さんからの質問

桜の満開の季節が訪れ久しぶりに靖国神社に参拝しました！お国の為に一身を捧げた英霊に対し感謝を申し上げこうべをたれました！今の日本国をみて英霊は何を想うのか？ご先祖様のお陰で日本という平和な国家があるといっても過言では有りません！今こそ私達未来の子孫のために何が出来るか考える時期に来ているのではないのでしょうか？西田先生は靖国神社を参拝するにあたり何を感じますか？教えてください！

●西田昌司の答え

靖国神社には歴代天皇の御製が掲げられていて、毎月違った御製を読むことができるのですが、国を想う良い歌がたくさんあります。また、英霊の言の葉がこちらにも毎月違ったものが掲げられていますが、家族に宛てた最後の手紙といった内容で深い感銘を受けます。私は東京にいるときはほぼ毎朝靖国に参拝しますが、毎朝そういった御製や言の葉を^{こと}読んでいると、何かが自分に降りてくるような感じがします。

戦後、日本は「自分の国は自分で守る」という当たり前の議論もまともに出来ないような国になってしまいました。今我々がこうやって平和に暮らせているのは靖国に眠っている英霊たちの献身があってこそなのだ、靖国に参拝する度に痛感します。GHQに押し付けられた現行憲法の出来た経緯をはじめとして、私は戦後の欺瞞を国民に伝えるべく議員活動を続けていますが、多くの国民は今の平和な状態が何故あるのかを考えようともせず、彼らを目覚めさせるまでには至っておりません。国を守るため、命を賭して戦った靖国の英霊には本当に申し訳なく思います。私が靖国に参拝する際

は、自分への反省も込めて、英霊たちに「安らかにお眠りください」「平らたいけくこの国をお守りください」「靖国の英霊に恥じぬ生き方ができるようご教導ください」と話しかけています。

靖国の英霊が命を賭けて国を守ろうとしたように、今を生きる我々は少しでも良い形で次の世代に渡すよう努めなければなりません。靖国に参拝する度に私は気持ちを新たにしています。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>